

YCU 第2クォータープログラム 派遣学生報告書

氏名	Y.I.	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	2年	派遣国	フランス
派遣大学	トゥーレーヌ語学学院		
プログラム名	第2クォータープログラム		
期間	2024年8月5日～ 2024年8月30日		

(1) 授業や課題、演習はどのような内容であったか。(800字程度)

(可能な限り具体的に、印象に残った授業などの説明があるとよい)

授業は月曜日から金曜日の週5回あり、そのうち火曜日・木曜日は午後の授業もあった。私のクラスでは午前の授業では文法を中心に学び、午後の授業では課外活動を行うことが多かった。文法に関しては初習外国語であるフランス語科目を取ってれば一度はやったことのある内容(近接過去・未来、半過去、複合過去など)がほとんどであったためそれほど困ることはなかった。テストに関しては一度授業内に行われ、ライティングとリーディングの問題が出された。難易度はそれほど高くなく、事前にクラス全体で難しい語彙を確認する時間も設けられた。またテーマなしのプレゼンテーションも行った。それぞれ個人やグループで発表を行い、私はクラスメイトの1人と共同で日本のアニメに関する発表を行った。ほとんどの学生が自分たちの国に関する発表をしており、多国籍なクラスだったこともあって様々な国に関する発表を聞くことができ、とても楽しかった。課題に関してはほぼ出されなかった。プリント教材の課題が一度だけ出されたが、基本的に授業内で課題を解く時間がしっかり確保されていた。午後の授業に関しては学校周辺の美術館や博物館を訪れ美術品や絵画を鑑賞した。私は特にこの美術館巡りが気に入っており、各々のペースでじっくり作品を鑑賞できた。例えば中世の貴族の様子が描かれた絵画や、街に生息する生き物の剥製の展示などを鑑賞した。フランスの美術や芸術に触れることができる非常に貴重な機会だったと思う。また最終週には気候変動に関するプログラムが行われた。クラスメイトがそれぞれ、原因・結果・解決に向けた取り組みの3つのグループに分かれ、考えたことや知っていることを大きな紙に書き出し1つの作品として完成させた。紙には誰もが分かりやすいように絵を描き、母国語とフランス語で書かれた単語や文章も交えながら制作した。グループのみんなと共同で1つのものを完成させるのはとても楽しくやりがいがあった。

(2) 授業を受けてどのような知識等が得られたか。(500字程度)

フランス語の正しい文法はもちろん、実際にフランス人が日常で使う言葉を知ることができた。例えば je ne sais pas (私は知らない) という文章をフランス人は ne を言わず je sais pas と言うことが多いなど、省略した語を使うことも多いことを学んだ。私はホストマザーがこの言葉を使った当初、これは知っているのか知らないのかどっちなのだろうと疑問に思っていた。しかし授業でフランスで実際に使われているこれらの言葉を知り、それまで？と感じていたことが解消され日本では学べない新たなフランス語を知ることができた。自分も実際に使用したほか、生徒同士の会話でもこうした単語は多く上がっていた。また授業内では多くの単語を知ることができた。先生が授業に関係ない事であっても自分や学生が取る行動に対して「これは何て言うか知ってる？」と学生に聞き、それをボードにも書いて説明してくれたため新たな単語をどんどん学ぶことができた。コーヒーを飲んでいたら、飲むという単語だけでなく一気に飲みや少しずつ飲むなどの色々な表現を教えてくれ、類語やそれに関係する様々な言い回しを知ることができた。日常的に使う単語から学術的な単語まで多くの単語を学ぶことができたと思う。

(3) 授業を受ける前・受けた後でどのように(気持ちなどが)変化したか。(400字程度)

自分から進んで質問や発表することの大切さを実感した。授業では多くの生徒が先生の質問に対して名指しされなくても答えることが多く、そのことに非常に驚いた。元々海外の学生は自ら発言する人が多いとは思っていたものの、自分がちょっとでも引っかかる問題があればすぐに質問し、内容に関係なく発言する光景を何度も目の当たりにして、こうした自ら進んで発言する行為はすごいなと感化された。しかし中々自分の中でも勇気が出ず、先生に名指しされてからしか答えることがなかったのだが、せっかく留学に来たのだからと気になった点を質問してみると、先生がいい質問だとほめてくれただけでなく他の学生からも質問したことを褒められ、とても嬉しい気持ちになった。こうして満足感や達成感を得ることができたほか、その質問と関係する授業内容の理解も深まるというメリットにも気づき、発言は自身の成長につながる重要なものだと感じた。

(4) 今後どう生かしていくか。どのように学業を進めていくか。(300字程度)

今回の留学を通してフランス語の学習を続けたいという想いが強くなった。トリリンガルの学生も多くいたことで、私も英語だけでなくフランス語も習得してより多くの言語を話せるようになりたいと思った。今までは英語が話せれば良いと考えていたが、たくさんの言語が話せる学生を見てカッコいいと感じた。またクラスメイトのフランス語能力が高く、それにも強く刺激を受けた。会話する中で単語が分からないことも多くあったので、まずは単語を知ることから始めたいと思う。またクラスメイトの中に DELF を受けるという学生がいたので私も受けてみたいと思った。しかしまだまだフランス語のレベルは高くないのでこれからも勉強を続けていきたい。